

『Studies in Applied Economics 応用経済学研究』執筆要領

1. 論文の使用言語は日本語あるいは英語とする。論文の表紙には、論文タイトル（和文の場合は英文タイトルと和文タイトル）、著者名（ローマ字記載を含む）、著者の所属先、e-mail address を含む連絡先、200 字以内の要旨、キーワード（5 個）、JEL区分、および 100 words 以内の英文要旨を記載しなければならない。（英文要旨については英文タイトル、著者名、著者の所属先を記載すること）。著者が複数の場合には連絡担当の著者を明記すること。なお、表紙以外に著者名を記載しないこと。
2. 母国語として英語を使用していない者が英文で執筆する場合、必ずネイティブ・チェックを済ませておくこと。
3. 提出原稿は、上下左右の余白を十分にあげ、ページ番号を記載すること。
4. 投稿論文の原稿は和文あるいは英文で執筆しなければならない。原稿字数は以下に示される上限を原則的に超えることはできない。

研究論文	和文	18,000 字
	英文	7,200 words
研究ノート	和文	9,000 字
	英文	3,600 words
5. 本文、注、参考文献の順に書くこと。注は脚注ではなく本文の後にまとめて記載すること。注は可能な限り少なくすること。なお、最初の提出原稿には、謝辞を記載しないこと。注の番号はアラビア数字（1,2,・・・）を使用すること。
6. 節、項の見出しの付番形式は原則として以下のようにする。
 - 1.
 - 2.
 - 2.1
 - 2.2
 - 2.2.1
 - 2.2.2
 - ・・・
5. コンピュータで作成した外字およびパーソナル・コンピュータの機種に依存する特殊文字の使用は避けること。
6. 数式に付番が必要な場合には半角文字で付番し（）「括弧」で囲み、(1),(2),

(3)・・・のように式番号を右寄せでつけること。

7. 式の導出が省略されている場合には，導出過程を記載したものを添付する。
8. 数式についてはなるべく簡潔に表記しなければならない。また，文中で数式を用いる場合には， a/b ， $a/(b+c)$ ， $a/(b+c/d)$ などのように1行にすることが望ましい。
9. 図・表は本文とは原稿用紙を改め，1枚につき1点を作成し，挿入箇所を本文中に明記すること。
10. 参考文献の表記は，以下のような形に従わなければならない。

(著書)

応用次郎 (1990)，『応用経済学』，応用経済社。
Gibbons, R (1992), *Game Theory for Applied Economist*, Princeton University Press. (福岡正夫, 須田伸一訳 (1995), 『経済学のためのゲーム理論入門』, 創文社.)

(論文)

応用参郎 (2001)，「温室ガス削減の経済分析」『環境問題研究』第2号第1巻，10-20頁。
Solow, R. M., (1956) “Contribution to the Theory of Economic Growth,” *Quarterly Journal of Economics*, vol.70, pp. 65-94.

なお，本文中に参考文献を引用する場合には，応用 (1990)，Solow(1956)のよう
にすること。